

しゅびょう
地域性種苗などを用いた生物多様性の取組みでグッドデザイン賞を受賞

2016年10月6日
大阪ガス都市開発株式会社

大阪ガス都市開発株式会社(本社:大阪市、社長:高橋幸夫)が2010年から継続的に取り組んできた生物多様性に関する取組みが、2016年度グッドデザイン賞を受賞しました。

大阪ガスグループでは、生物多様性がもたらす様々な恵みは必要不可欠であるとの認識のもと、事業活動を通じて国内外の生物多様性に関わる上で指針となる「大阪ガスグループ生物多様性方針」を国際生物多様性年(2010年)に制定しました。今回の受賞は、同方針のもと、単発の企画ではなく、分譲マンション「ジ・アーバネックス」シリーズ、賃貸マンション「アーバネックス」シリーズなどの様々なプロジェクトを通じ、継続して生物多様性のテーマに取り組んでいることや、地域性種苗に注目した取組みなどが評価されました。

<受賞した取組みの概要>

「地域性種苗などを用いた生物多様性の取組み」 (分類:地域・コミュニティづくり/社会貢献活動)

当社は2010年から、不動産開発に伴う緑地形成時に「地域に合わせた植生の緑地を形成し、生き物のすみかを作る」「可能な限り、地域性種苗の導入や絶滅危惧種の保全を図る」という考え方を導入し、生物多様性保全活動の深化と、生活者が身近に「生物多様性」を知り、体感できるための仕組み作りに継続して取り組んできました。



GOOD DESIGN AWARD
2016年度受賞



具体的な取組みは以下の通りです。

(主な対象物件:ジ・アーバネックス京都松ヶ崎、KRP9号館、
アーバネックス神戸六甲、ジ・アーバネックス神戸大倉山)

1. 多様な生き物が立ち寄る生活空間の創出

緑地形成時に、以下の3つの多様性の保全に努めています。

- ①遺伝子の多様性 : 立地ごとにその地域の自然環境から得られる種子より育てた「地域性種苗」を植栽
- ②種の多様性 : 絶滅危惧種を植栽し、育成
- ③生態系の多様性 : 外来種の不採用や、生き物のすみかとなる仕掛けを配した緑地形成

2. 生物多様性の取組みを浸透させるマニュアルを整備

大阪ガス株式会社とともに、「大阪ガスグループ建築物外構植栽・生物多様性配慮型植栽レファレンス」を策定し、継続的な仕組みを整備しています。

3. 地域の保全団体と連携し、地域文化の継承にも貢献

「兵庫県人と自然の博物館」様や「左京の自然を愛でるプロジェクト」様などの機関と連携し、入手が難しい地域性種苗を確保しています。また、地域性種苗を用いる意義や地域の植生の解説サインを庭園に設置し、生活空間の中で関心を持っていただけるよう工夫しています。

【本件に関する問い合わせ先】 大阪ガス都市開発株式会社 企画部 (担当: 岸野) 06-4707-6315

<参考資料 1> 大阪ガス都市開発の生物多様性に関する主な取り組み

1. 生物多様性の3つの「多様性」の保全を重要視し、多様な生き物が立ち寄る空間を創造

当社は、生物多様性の3つの要素「遺伝子の多様性」・「種の多様性」・「生態系の多様性」を重要視し、マンションやオフィスなどの開発においてこれらの保全に努める先進的な取り組みを2010年度から継続して展開しています。多様な生き物が立ち寄る生活空間を提供し、それらの取り組みを紹介することで、生活者が身近に「生物多様性」を知り、体感できる不動産開発を目指しています。



※近年、都市緑地の生物多様性保全機能が着目され、生物生息空間機能の確保、緑地を形成する植物の種類（種多様性の保全）などの観点での取り組みが進展しています。しかし、その際に植栽される苗が他地域産であることにより、かえって周辺の自然に悪影響を及ぼす可能性があることが指摘されています（遺伝子攪乱）。地域性種苗を植栽し、遺伝子の多様性を保全しています。

2. 「大阪ガスグループ建築物外構植栽・生物多様性配慮型植栽レファレンス」

大阪ガスグループでは、国際生物多様性年（2010年）に自然共生社会に貢献するため「大阪ガスグループ生物多様性方針」を策定しました。その方針のもと、当社の不動産事業において、生活者が身近に「生物多様性」を知り、体感できる取り組みを進め、2013年には生物多様性の取り組みを浸透させるマニュアルを整備するなど継続的に実践しています。地域性種苗・絶滅危惧植物の保全促進と、地域在来樹種の採用・外来種不採用などにより、多様な生き物の存在を感じられる空間を創出しています。



生物多様性の保全と情緒豊かな緑地空間の形成

導入実績
18 物件 (住宅(賃貸・分譲)、オフィス)

外来種不採用を徹底し、見分けにくい外来種をチェックリスト化。

小規模マンション等でも実現可能な面積に合わせた植栽メニューを構成。

緑地用途に合わせてメニューを整備。空間演出のコンセプトに沿った樹種構成にも配慮。

大阪、兵庫、京都、東京都ごとに植生を分類。各地の在来植物をリスト化している。豊かな生態系が都市に隣接している京阪神地域の特徴にも配慮し、地域ごとに合う植生を提案。

生き物のすみか創出の仕掛けをメニュー化。蝶や鳥が飛来し、生き物を身近に感じられる空間を創出しやすい工夫。

大阪ガスグループ建築物外構植栽・生物多様性配慮型植栽レファレンス

3. 地域の保全団体との連携

(1) 「兵庫県立人と自然の博物館」さま

「兵庫県立人と自然の博物館」さまが進めている野生植物の保全を目的とした「ジーンバンク事業」と連携し、六甲山系の遺伝子を持つ植物、絶滅危惧種植物などを兵庫県下のマンションに植栽。

・「兵庫県立人と自然の博物館」 <http://www.hitohaku.jp/>



(2) 「左京の自然を愛でるプロジェクト」(チマキザサ再生プロジェクト) さま

京都市左京区において、シカの食害等により絶滅の危機に瀕しているチマキザサの保存・育成を図る市民活動と連携して採用。 <http://www.city.kyoto.lg.jp/sakyo/page/0000159656.html>



(活動風景)

(3) 株式会社京都放送 (KBS 京都) さま

平安時代に貴族の邸宅であった敷地には文化や歴史を受け継ぐことを意図し、源氏物語にも登場するフジバカマを植栽した。地元でフジバカマの保存・育成に取り組むKBS京都様と連携し、実現。



(フジバカマの譲り受け)

4. 主な対象物件(地域性種苗を導入した物件)

【分譲マンション】



| | |
|---|--|
| <p>ジ・アーバネックス京都松ヶ崎</p>  | <p>ジ・アーバネックス神戸大倉山</p>  |
| <p>地域性種苗：チマキザサ</p> | <p>地域性種苗：アリマグミ、アラカシ、オカトラノオ、ツリガネニンジン、オトギリソウ</p> |
| <p>連携先：「左京の自然を愛でるプロジェクト」（チマキザサ再生プロジェクト）さま</p> | <p>連携先：兵庫県立人と自然の博物館さま</p> |

(上記2件はマンション管理組合さまによる保有、管理物件です。)

| | |
|---|---|
| <p>【賃貸マンション】</p>  <p>アーバネックス神戸六甲</p>  | <p>【賃貸オフィスビル】</p> <p>KRP9 号館</p>  <p>※京都リサーチパーク(株)が運営</p> |
| <p>地域性種苗：フジバカマ</p> | <p>地域性種苗：(フジバカマ(原種))</p> |
| <p>連携先：兵庫県立人と自然の博物館さま</p> | <p>連携先：株式会社京都放送（KBS京都）さま</p> |



5. その他

受賞概要掲載 URL

<https://www.g-mark.org/award/describe/44568>



大阪ガスグループ 生物多様性の取組み URL

<http://www.osakagas.co.jp/company/csr/charter02/biodiversity.html>

